教育だより

第217号
令和８年（2026年）10月30日
練馬区教育委員会
練馬区豊玉北6-12-1
☎03-5984-5609

「もしも」のときに子どもたちの命を守るために

区立小中学校、幼稚園および保育園の安全対策

区立小中学校、幼稚園および保育園では、地震や火災などの様々な災害を想定して月１回以上、避難訓練などを行っています。北区の学校火災を踏まえ、避難経路が使用できない場合を想定した訓練を取り入れるなど、その時々の状況に応じて安全に行動することの大切さを指導しています。

また、地域や警察などの関係機関と連携して、登下校時の安全対策、電気錠・防犯カメラの導入や不審者対応訓練などの防犯対策にも取り組んでいます。今回は、その取り組みの一部をご紹介します。



登下校時の安全対策、小中学校内の防犯対策、保育園の安全教育を次ページで紹介

小中学校で進める災害対策

消火設備について知り、備える

小中学校には、災害に備えて消火器や消火栓などの消防設備が設置されています。定期的に教職員が、消火栓の設置場所や使用方法を確認したり、実際の設備を用いた訓練を行ったりするなど、災害発生時の役割や対応について確認する機会を設けています。





避難経路が使えない場合に備える

小中学校では法令に基づき救助袋などが設置され、階段による避難や安全な場所への退避が困難な場合に使用する最後の避難手段として位置付けられています。

救助袋には、斜めに展開して使用する「斜降式」や下方向へ降下する「垂直式」があります。

「垂直式」は内部がらせん状になっており、安全な速度で地上まで降りることができます。

小中学校では救助袋などを使用した訓練を順次開始しています。今後も実践校を拡大し、訓練を継続的に実施できるよう取り組んでいきます。



「斜降式」



「垂直式」

これからも様々な「もしも」を想定し、児童・生徒の命を守るための訓練や備えを積み重ねていきます。

【問合せ】教育指導課 指導主事〔電話 03-5984-5759〕

【登下校時の安全対策】

登下校時には児童通学案内指導員を配置するほか、地域の皆さんや警察とも連携しながら見守り活動を実施しています。また、安全・安心パトロールカーによる巡回、通学地域防犯カメラによる見守りを行い、小中学校周辺や通学路の安全確保に努めています。



児童通学案内指導員による児童の安全支援


警察と連携した登校時の見守り



安全・安心パトロールカーによる
学校周辺・通学路巡回


通学地域防犯カメラによる見守り補完

【校内の防犯対策】

小中学校では、不審者対応訓練などを通じ、緊急時に迅速かつ適切な対応ができる体制を強化しています。また、電気錠・防犯カメラの導入、学校安全安心ボランティアの皆さんの支援により、安全な教育環境づくりに取り組んでいます。さらに、防犯ブザーの携帯や自転車交通安全教室などを通じて、子どもたち自身が身を守る力を育んでいます。


学校防犯指導員による警察などと連携した不審者対応訓練


不審者侵入に備えた防犯カメラの設置、
映像確認体制


全区立小中学校での電気錠設置、
来校者確認・入校管理


防犯ブザーの全児童配付による
緊急時の安全確保


学校安全安心ボランティアによる
来校者対応・見守り活動

【問合せ】教育総務課 学校安全推進担当係〔電話 03-5984-1346〕

豊玉第三保育園
もしもの時に備えた安全教育

豊玉第三保育園では、子どもたちが自分の命を守る力を身につけられるよう、日々様々な安全教育に取り組んでいます。防犯訓練では「いかのおすし」を学び、職員も不審者対応を再確認しました。また、夏の水遊びに向けた救命講習や起震車による地震体験・消火器による消火訓練を通して、いざという時に落ち着いて行動できる力を育んでいます。なお、このような安全教育や防災への取り組みは、他の保育園においても様々な形で実施されています。今回は、その取り組みの一部をご紹介します。

防犯訓練



子どもたちが自分の身を守るための合言葉として、防犯標語**「いかのおすし」**を学びました。

いか・・・知らない人について**いか**ない
の・・・知らない人の車に**の**らない
お・・・危ないと思ったら**お**おごえを出す
す・・・危険を感じたらその場から**す**ぐに逃げる
し・・・何かあったら大人に**し**らせる

不審者役の警察官を迎え、実践的な防犯訓練を実施しました。職員は子どもたちの安全を守るため、不審者への対応、安全確保、警察への通報などの役割を確認しながら訓練に取り組みました。



起震車体験



実際の揺れを体験することで、地震から身を守ることの大切さを感じる機会となりました。子どもたちは職員の話をよく聞きながら参加し、地震が起きた際の行動について学びを深めました。



消火訓練



「火事だ！」の合図で消火訓練を開始しました。訓練では、練習用の消火器を使いながら、火事が起きた際の消火方法について学びました。



救命講習



夏の水遊びに備え、毎年AEDの使い方を学んでいます。赤ちゃんのダミー人形を使い、保育園ならではの実践的な訓練を行いました。

足用さすまたも効果的！





【問合せ】保育課 管理係〔電話 03-5984-5839〕

「心の元気」を育てるために ～リフレーミングで見方を変えてみよう!

子どもの姿を見ていて「困ったな」と感じることはありませんか。そんなときに役立つのが**「リフレーミング」**という考え方です。
物事を別の視点から見直し、子どもの強みや可能性に気づくことで、親子ともに心の元気を育てることにつながります。

気になる姿 が 強み や 可能性 に変わります！



例えば…

落ち着きがない	好奇心旺盛
おしゃべりが多い	表現力が豊か
頑固	自分の考えを持っている
心配性	慎重に考える
失敗を気にする	責任感が強い

困りごとの見え方が変わると、
子どもへの関わり方が変わってきます。



子どもへの声かけを少し変えてみましょう

「また失敗したの」 ⇒ 「難しいことにも挑戦したんだね」
子どもは大人からの言葉を通じて、自分自身を理解していきます。
強みに目を向けた言葉かけは、自信や挑戦する意欲を育てることにつながります。

保護者の心も少し楽になります

「うちの子は問題ばかり」と感じると保護者も疲れてしまいます。
困った行動の背景や強みに目を向けることで、
気持ちが少し軽くなることがあります。

今日からできること

お子さんの気になる特徴を一つ思い浮かべ
「その特徴のよい面は何だろう？」と考えてみましょう。
見方を少し変えることが、心の元気を育てる第一歩です。

【問合せ】学校教育支援センター 教育相談係〔電話 03-6385-9911〕

『小学生の放課後の居場所ハンドブック』

小学生の
放課後
どう過ごす？





二次元コードから
チェックできます！

または「練馬　放課後の居場所ハンドブック」で検索♪

お子さんに合った
居場所選びを
サポート！

＼ぜひご覧ください／



【問合せ】子育て支援課 放課後支援係〔電話 03-5984-1665〕

「練馬こども園」のご紹介
～新たに4園認定しました～






【練馬こども園とは】

長時間の預かり保育を行う私立幼稚園を「練馬こども園」として認定しています。
子どもの教育や保育について保護者の選択の幅が広がり、共働き家庭も利用しています。

【新規認定園】

- ●３～５歳児の保育　上石神井幼稚園、信愛学舎みどり幼稚園
- ●２歳児の保育　浄風幼稚園、田柄幼稚園

【練馬こども園の特徴】

- ●通年（夏・冬・春休みを含む）で、１日９時間から11時間の預かり保育を行っています。
  ※夏季休園や年末年始など、園が指定する休園日があります。
- ●各私立幼稚園の特色を活かした教育を実施しています。
- ●３歳未満児の預かり保育を実施する園もあります。

◎お申込みなどの詳細は、各園にお問い合わせください。

詳しい内容は「練馬こども園」で検索してください。

【問合せ】こども施策企画課 こども施策担当係〔電話 03-5984-1306〕

情報モラル教育を進めています

デジタル社会を主体的に生きる力を育むために

タブレットやインターネットは、学習や生活に欠かせないものとなっています。その一方で、使い方を誤るとトラブルにつながる場合もあります。
区立小中学校および幼稚園では、発達段階に応じた情報モラル教育を進めています。幼児期から、ルールを守ることや相手を思いやることの大切さを学び、成長に合わせて情報機器やインターネットの適切な活用について学習しています。
これからも、子どもたちがデジタル社会の中で、自ら考え、判断し、責任をもって行動できる力を育んでいきます。



【問合せ】教育施策課 教育ICT環境整備係〔電話 03-5984-1065〕

電子黒板を更新しました

小中学校の電子黒板を新しい機種に更新しました。
新しい電子黒板は、高精細で見やすい画面を備え、動画や教材を大きく映し出すことができます。児童・生徒が自分の考えを発表したり、友達と意見を共有したりする場面など、さまざまな授業で活用されます。
今後もICT機器を効果的に活用し、子どもたち一人ひとりの学びの充実を図っていきます。



【問合せ】教育施策課 教育ICT環境整備係〔電話 03-5984-1065〕

地域で見守るみんなの子
～11月はオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン～

オレンジリボンには、子どもの虐待を防止するというメッセージが込められています。

子ども虐待防止
オレンジリボン運動

子ども家庭支援センターでは、児童虐待の防止・早期発見、子どもと家庭の支援に取り組んでいます。11月は啓発のための講演会などを行います。子どものみなさん、保護者の方で、気になることや悩んでいることがあれば、すぐにご相談ください。

■子どものみなさんへ

こまったり、なやんだりしたら、〔電話してね

〔0120-248-551
子ども家庭支援センター
月～金曜…午前8時30分～午後7時
土曜　…午前8時30分～午後5時
夜、日曜・祝休日は〔189
（児童相談所虐待対応ダイヤル）



あぶないとおもったら〔110番か、交番へ！

あなたや、友だちが、　たとえば、こんなこと
おうちの人や、知っているおとなから、
こんなことをされていたら、〔電話してね

- ●たたかれる、けられるなどのぼうりょくをうけている
- ●ごはんをたべさせてもらえない　●家に入れてもらえない
- ●学校に行かせてもらえない　●大きな声でずっとおこられる
- ●からだをさわられて、いやなことをされる　…など

あなたの秘密は守ります

■保護者の方へ

- ●子育てがつらい、苦しい育児に疲れている
- ●子育ての不安を話せる人が周りにいない
- ●ついイライラして、子どもに手をあげてしまう
- ●子どもといるのが嫌になり、無視したり、拒否したりしてしまう…　など

■子育ての相談

窓　口		受付日時
地域子ども家庭支援センター	貫井☎03-3577-9820、光が丘☎03-5997-7759、大泉☎03-3925-6713、　関　☎03-5927-5911	月～土曜日午前９時～午後５時 ※祝休日を除く。
	練馬☎03-6758-0141	月～土曜日午前９時～午後７時（土曜は午後５時まで） ※祝休日を除く。

期間中の催し

❶ 講演会
（保育室あり・手話通訳あり）

月日　11月７日（土）　場所　練馬区職員研修所　定員　80名（申込順）

第１部　里親体験発表
午後１時30分～午後２時30分

東京都の里親制度を、多くの方に知っていただくため、さまざまな事情で親元を離れている子どもを、里親として育てている養育家庭の方などから、お話をお伺いします。

里親制度について知りたい方、里親になることをお考えの方など、ぜひご参加ください。



東京都里親制度PRキャラクター
『さとぺん・ファミリー』

●里親制度相談コーナーを開設　午後１時～午後４時30分

第２部　講演
午後２時50分～午後４時30分

「自分が嫌い病」の子どもたち
～子どもの社会問題・理解と支援について

講師：成重 竜一郎さん（児童精神科医／日本医科大学精神医学教室）

日本では10代の死因のうち、自殺が最も多くなっています。また、子どもの自傷行為やオーバードーズ、不登校なども社会問題となっています。その背景には、「自分が嫌い」という子どもたちの心理があります。

時代とともに変化してきた育児をめぐる問題や、「自分が嫌い病」の子どもたちの様子、親以外の大人による理解と支援について、支援と治療の現場からお話をいただきます。



●申込：11月５日（木）までに子ども家庭支援センター
〔電話 03-3993-8155 / Fax 03-3993-8215〕

※保育室（生後3か月～未就学児対象。定員10名・申込順・保険料50円）は、10月30日（金）までに申込。

申込フォームの二次元コード　申込はこちらから

❷ 児童虐待防止パネル展

日時　10月26日（月）～11月30日（月）
午前8時45分～午後8時（26日は午後から）
※11月11日（水）～13日（金）を除く

場所　区役所本庁舎１階アトリウム銅像前

【問合せ】子ども家庭支援センター 地域連携係〔電話 03-3993-8155〕

「教育だより」へのご感想やご要望をお寄せください

教育だよりの紙面に対してはもちろん、各記事の詳細につきましてもご感想やご要望をお待ちしています。二次元コードからアクセスし、「教育だよりへのご感想・ご要望について」よりメールをお寄せください。いただいたご感想、ご要望は、次号以降の記事作成への参考とさせていただきます。

教育総務課 庶務係